

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の目標の中に、「利用者の心に沿った介護をしたい」とある。個々の人生史や死生観などを知り、「あすなるホーム」の中で誰かの為に何かしたい、役に立ちたいという気持ちを大切に、職員全体で取り組む必要があるが、日々の業務に追われ、利用者それぞれが役割を持って生活することが実施できていない。	利用者それぞれの人生史や死生観などを知り、「あすなるホーム」の中で誰かの為に何かしたい、役に立ちたいという気持ちを理解し、思いを実現できるよう、職員全員で取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の気持ちを理解するために、さまざまな研修に参加する。その中で、勉強になったことを実際に行ってみる。 ・家族から、入居する前の様子などを聞く。 ・本人から発信を見逃さない。また、得られた情報は職員間で共有する。 ・本人の「できること」「支援すればできること」「できないこと」などを明確にする(アセスメント) ・得られた情報を基に、支援計画を立てる。 ・実際に支援する。 ・評価、修正、実施、見直しなどくり返し、あすなるでの生活を支援していく 	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。